

議会 だより



こ が し
古 河 市



第 79 号

令和 6 年 3 月 1 日

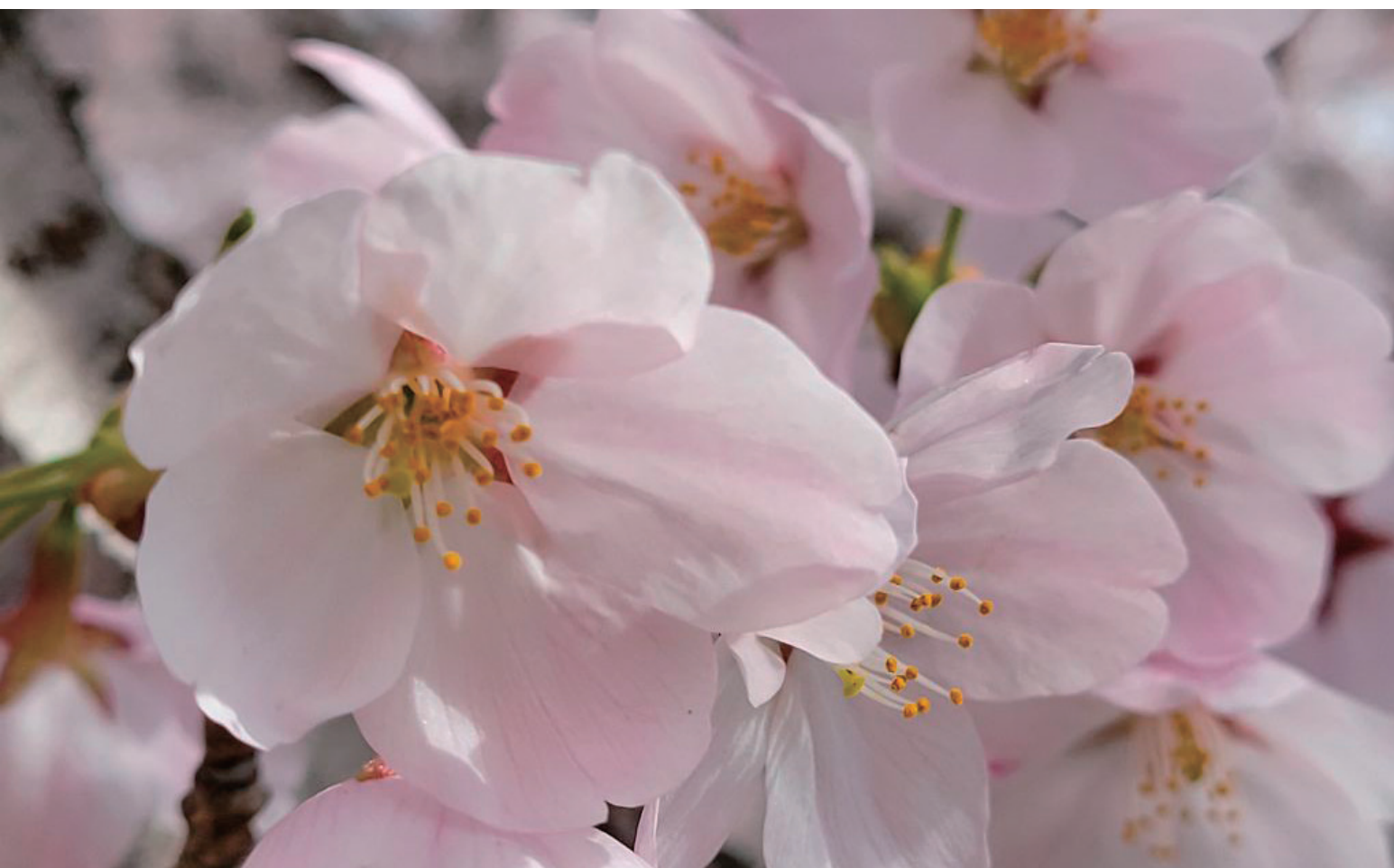
編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

ホームページ

古河市議会

検 索



桜色の春を見上げて (サンワ設計ネーブルパークにて)

令和 5 年 第 4 回定例会開催

第4回定例会は12月5日から12月15日までの会期11日間で開かれ、認定1件、報告2件、議案30件について審議しました。一般質問は12月12日、13日、14日の3日間行われ、13名の議員が登壇しました。請願1件、陳情2件については、4ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

令和5年第4回定例会 議決一覧表

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
認定第20号	令和5年度古河市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	5.12.5	承認
議案第87号	古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第88号	古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第89号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第90号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第91号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第92号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第93号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第94号	古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	5.12.5	同意
議案第95号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	5.12.15	原案可決
議案第96号	古河市永井路子歴史文化振興事業基金条例の制定について	5.12.15	原案可決
議案第97号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	5.12.15	原案可決
議案第98号	古河市ネーブルパーク条例の一部改正について	5.12.15	原案可決
議案第99号	古河市市営住宅条例の一部改正について	5.12.15	原案可決
議案第100号	古河市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	5.12.15	原案可決
議案第101号	古河市下水道事業の設置等に関する条例及び古河市農業集落排水事業減債基金条例の一部改正等について	5.12.15	原案可決
議案第102号	古河庁舎併設市民集会施設の指定管理者の指定について	5.12.15	原案可決
議案第103号	古河市みどりヶ丘ふれあいの家の指定管理者の指定について	5.12.15	原案可決
議案第104号	古河市三和いこいの家の指定管理者の指定について	5.12.15	原案可決

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
議案第 105 号	古河市勤労青少年ホーム・古河市働く女性の家の指定管理者の指定について	5.12.15	原案可決
議案第 106 号	古河スポーツ交流センターの指定管理者の指定について	5.12.15	原案可決
議案第 107 号	市道の路線認定について	5.12.15	原案可決
議案第 108 号	令和5年度古河市一般会計補正予算（第6号）	5.12.15	原案可決
議案第 109 号	令和5年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 110 号	令和5年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 111 号	令和5年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 112 号	令和5年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 113 号	令和5年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 114 号	令和5年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 115 号	令和5年度古河市水道事業会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決
議案第 116 号	令和5年度古河市下水道事業会計補正予算（第2号）	5.12.15	原案可決



請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和5年 請願第7号	(仮称)古河市健康交流センター 天然温泉「古河公方の湯」の新設を求める請願	文教厚生常任委員会	継続審査
令和5年 陳情第10号	観光案内図の設置方法の見直しについて	産業建設常任委員会	継続審査
令和5年 陳情第11号	「死体埋葬許可証」の故人の物体扱いを「遺体納骨許可証」へ。 愛する家族への尊厳を守る為、国民の殆どが気付かぬ名称変更請願を国に求める陳情書	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた案件

○賛成、×反対

番 号	政友会								古河市 公明党				市民ベースの会				真政会				無会派		
	佐藤 泉	小森谷博之	鈴木 務	小林登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	立川 徹	関口 和男	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	古川 一美	秋庭 繁
令和5年 陳情第11号			×			—		×		×				○		×	○	×		×		○	○

※議長は表決に加わらないため「—」と表示。

請願・陳情の出し方について

市政などについての意見や要望を請願・陳情として、市議会に提出することができます。

請願・陳情書は日本語で次の事項を記載し、ご提出ください。

- 1. 請願・陳情の件名
- 2. 請願・陳情の趣旨（内容）
- 3. 提出年月日
- 4. 請願・陳情者の住所、氏名（署名または記名、押印）
- 5. 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名、押印

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

記入例

(表紙)

〇〇に関する請願（陳情）

(請願の場合)

紹介議員 〇〇 〇〇 ㊟

(本文)

件名 〇〇に関する請願（陳情）
要旨 〇〇〇なので〇〇〇してください。

(請願の場合)
地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願します。
(陳情の場合)
上記のとおり陳情します。

令和 年 月 日
古河市議会議長 〇〇〇〇殿

請願（陳情）者住所
請願（陳情）者氏名 ㊟

第4回
定例会

一般質問

第4回定例会の一般質問は、12月12日、13日、14日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



佐々木 英徳 議員



環境問題への対策について

問 自動販売機リサイクルボックスの異物混入は、SDGsに反する課題である。自動販売機リサイクルボックスの正しい利用方法やリサイクルの重要性を広報するとともに、市民が自分の行動を見直す機会にしていただければと思う。環境問題への対策について、市長の考えを伺う。

答（市長） 再資源化が可能なも

のを効率よく回収することは、持続可能な循環型社会を目指す上でも、重要な取り組みであると認識している。関係機関と連携し、市民への普及に努めたい。今後は、消費者の立場として、ペットボトル再生繊維を使った商品を利用するなど啓発活動をさらに推進していきたい。



食品ロス削減について

問 ^{かみいたちょう}徳島県上板町では、小学校児童が、商品として流通できな

い規格外農作物の収穫を行い、加工業者が、それらをみじん切りやペースト等に加工・冷凍して、学校給食に使用している。出荷や加工前に廃棄されている地域の食材の活用について伺う。

答（市民部長） 出荷できない規格外の野菜が流通することで供給量が過剰となり、市場価格が下がってしまう恐れがある。現状、価格維持のため生産者等の判断により、自家消費や肥料として利用するなどの対応をしている。規格外の農作物の活用については、市場価格の適正化と深いつながりがあることから、今後の社会情勢、また生産者や関連企業等の意向を確認し、尊重しながら、地域社会の活用の可能性も検討していきたい。



鶴見 久美子 議員

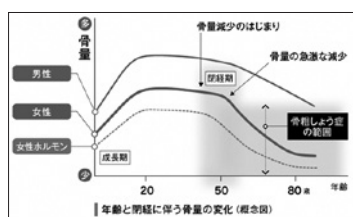


女性に多い骨粗しょう症について

問 骨粗しょう症とは、骨量が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気で、患者数も多くなっている。ちょっとのはずみで骨折しやすくなり、それにより歩行困難や介護が必要になってしまう。女性は40歳を過ぎたら検査を受けた方が良いとされる。①集団健診、医療機関での検査導入について②骨の健康チェックや症状チェック、食事や運動など予防法のチラシ配布

等について伺う。

答（健康推進部長） ①将来的な要介護状態の予防や医療費抑制につなげるため、今後、導入は必要と考えている。②多くの年齢層が日頃の生活習慣を見直し、骨の健康や骨粗しょう症予防を意識できるよう、市のホームページや広報誌等で周知していく。



年齢と閉経に伴う骨量の変化(概念図)
公益財団法人骨粗鬆症財団HPより

子育て支援について

問 乳幼児を連れて外出する父

親が増えており、外出先でのトイレが問題視されている。公共施設の男性トイレへのベビーチェア・ベビーベッドを設置することについて、現状の課題と所見を伺う。

答（財政部長） 既存の施設では建物の構造や面積の関係から、全ての男性トイレへの設置は困難である。利用実態やニーズ等を踏まえ、親子での利用が多く見込まれる施設のトイレの環境改善に努めていく。

答（福祉部長） 設置は、子育て世代、特に育児に積極的に関わろうとする男性にとって、安心して外出できることにつながり、子育て支援に寄与するものと認識している。



高橋 秀彰 議員



高齢者および若年者等の消費者トラブル対策について

問 高齢者の消費者トラブルの未然防止には、消費生活センターと高齢者福祉関係機関等との情報連絡体制の整備が必要であり、被害の早期発見と、迅速な被害防止への対応ができる仕組みが必要である。また、若年者に対する消費者教育を効果的に行うには、実際の被害事例等を踏まえた実践的な消費者教育が大事であり、プッシュ型の周知により、若年者が自分事と捉えるよ

う促すことが、消費者被害の未然防止につながるものとする。今後、高齢者や若年者の消費者トラブル被害の未然防止の取り組みにより、安心して消費生活を営める環境整備が必要と考えるがどうか。

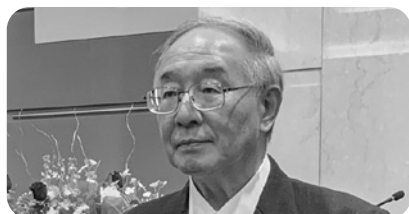


答（市長） 高齢の方、障がいのある方は、巧妙化、多様化する消費者トラブルのリスクが高まることが予想される。市では重層的支援体制整備事業において、庁内外の関係部署や民生委員等とも情報を共有し、対象者の支

援体制を構築している。消費者トラブルに対する地域見守りネットワークの在り方についても検討していきたい。若年者に対する消費者教育にも持続的に取り組み、ユーチューブ等も取り入れ啓発に努めていきたい。

答（産業部長） 消費生活センターや地域包括支援センター、成年後見地域連絡協議会など関係機関と情報共有、連携を図り高齢者の消費者トラブル防止に努め、ネットワークの在り方についても検討したい。

答（教育部長） 小中学生にとって身近な商品などを取り上げ、日々の消費行動がどのような消費者トラブルに結び付くのか、考えられる事例を授業に取り入れる工夫をするよう、各小中学校に助言している。



佐藤 稔 議員



「単身高齢者の終活支援」について

問 日本の単身高齢者数は約670万人と言われているが、頼れる家族が居ない場合、亡くなった後は無縁遺骨となってしまふ。今後、その対象者をどのようにして見つけ、本人の尊厳をどのようにして守るかについて早急な対応が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（福祉部長） 民生委員の協力で作成している高齢者世帯台帳

は、作成に当たり本人の承諾が必要のため、正確な人数の把握が難しい。今後の取り組みとしては、地域包括支援センター等の終活相談ができる窓口の周知を図り、エンディングノートや成年後見制度の活用、葬儀に関する情報提供等を引き続き進めていく。また、高齢者に情報が届きにくいことや終活支援相談窓口に対する課題については、民生委員や関係機関と連携を図り、専門的な人員の確保にも努めていきたい。

「防災FMラジオ」の導入について

問 阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など大災害での共通点として、大規模停電の理由から最も利用された情報メ

ディアはラジオであった。災害時における防災FMラジオの導入について、市の考えを伺う。

答（市長） ラジオは過去の大災害の経験から、伝達手段として有効性が高いと考えられている。コミュニティFMを含めた臨時災害放送局の活用については、今後調査研究を進めていきたい。

答（総務部長兼危機管理監） 防災行政無線の戸別受信機となる防災ラジオの導入は、専用機器や設備の費用等が課題である。



水戸市の防災ラジオ



印出 慎也 議員



SDGsの推進について

問 SDGs 17のゴールを達成するため、パートナー制度に登録した企業や市役所内に情報ベンダー（寄付型自動販売機）を導入すべきと考える。市の見解を伺う。

答（財政部長） 4月に各庁舎1台の寄付型自動販売機を設置し、市に寄付される売上金の一部を子ども食堂など、子どもたちの未来を応援する施策に活用する

予定である。



情報ベンダー（寄付型自動販売機）

ぐるりん号について

問 新たな財源確保および市民サービス向上のため、ぐるりん号のバス停名称へ、ネーミングライツを導入すべきと考える。市の見解を伺う。

答（市長） 有料広告掲載以外にも収入確保に向け、社会情勢や先進地の事例を参考に新たな方策に取り組み、持続可能な地域公共交通の一つとして、ぐるり

ん号の運営につなげたい。

答（市民部長） ネーミングライツの導入によりバス停の名称が変更となると、利用者が混乱し、また変更に係る作業や経費も発生する。市としては、バスの車両本体に有料広告を掲載し、収入を確保したい。

公金等の取り扱いについて

問 市で管理する公金等について、管理する部課数および管理する公金の金額をそれぞれ伺う。

答（会計管理者） 公金は16課3室、17施設、計36カ所で管理し、総額285万6,000円で、準公金は18課、行政委員会、2室で管理し、総額3億4,074万9,000円である。



小林 登美子 議員



ダイバーシティ（多様性）推進の取り組みについて

問 令和4年度に新設された人権推進課に、ダイバーシティ推進係が設置された。この経緯を踏まえ、これまでの主な啓発の取り組みや今後の展望、予定されている事業等について伺う。

答（副市長） 誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向け、市役所内外の関係部署と連携を図り、横断的に取り組みを推進していく。

答（市民部長） 令和5年2月にダイバーシティ推進フォーラムを開催した。また、広報紙やホームページ等での情報発信、小学生対象の出前講座、関係団体に向けた研修会などを行った。今後は、年度内に県との連携事業として講演会を実施する。



県内初のヤングケアラーコーディネートについて

問 2023年4月1日にこども家庭庁が設置され、同日、古河市においても福祉推進課にこども家庭連携推進室が設置された。

これまでの主な取り組み、学校や関係機関との連携について、また見えてきた課題と今後の取り組みについて伺う。

答（市長） 関係機関と連携して子どものライフステージに応じた支援体制の構築と、切れ目のない支援を強化していきたい。

答（福祉部長） 周知啓発のための研修、LINEを活用した相談体制の構築、子ども食堂へのアプローチを開始している。学校との連携では、相談先が明確になり支援につなげやすくなっている。ヤングケアラーの状況は、複合的な要因があり発見が困難であることが課題で、今後は、当事者である子どもから相談しやすい環境を作っていくことが重要と考えている。



小森谷 博之 議員



農業後継者への支援について

問 茨城むつみ農業協同組合管内の坂東市や境町では、補正予算を組み経営継承・発展等支援事業を使い、既存農家後継者の支援をしていると聞く。この事業は市町村の予算措置が前提とある。古河市においても取り入れて農業従事者数の維持を図ってはどうかと思うが所見を伺う。

答（産業部長） 現在行っている支援は継続し、国の経営継承に

関する助成制度を含め、新規の支援策についても検討したい。引き続き、農業者の負担軽減を図るため、丁寧なサポートの継続実施に努めたい。



子育て支援の充実について

問 さまざまな自治体が独自に支援金以外の方法で、現物給付等の取り組みをしているが、所見を伺う。

答（福祉部長） 昨年12月から公立保育所において、県内初の紙おむつのサブスクリプション^{（※）}

を導入した。今後も他自治体の事例を参考に現物給付の手法を含め、調査研究をしていきたい。

DXの進捗について

問 DXの観点から、市職員は従来の役割や業務手法からの大きな変化に対応することが求められている。今後の古河市のDXの推進に向けた市長の考えを伺う。

答（市長） 職員のITを使う力、リテラシー^{（※）}の向上が不可欠となる。職員がITの特性や限界を理解し、的確な指示を出すことで、業務効率化や市民サービスの向上に活用できると考える。まずは市役所から積極的に実践していきたい。

※サブスクリプション…月単位または年単位で定期的に料金を支払い利用するサービスのこと ※リテラシー…情報を正しく理解し活用できる能力



園部 増治 議員



未来産業用地開発事業（大堤地区）について

問 浸水の危険があるこの地区をどうして選んだのか。なぜ、沼田地区全体にしなかったのか。開発の前に、大堤排水路や南町排水路の整備、向堀川のかさ上げ、国道354号や国道4号の渋滞対策、都市計画道路の整備等が必要と考えるがどうか。

答（副市長） アクセス性が高く、交通インフラに恵まれた大堤エリアの17ヘクタールを選定し

た。民間事業者へのヒアリングにより、ニーズや規模感を勘案しており、今後開発が進めば拡張も想定している。

答（企画政策部長） 事業実施に当たり、住環境、交通環境および浸水環境への配慮等が必要である。周辺環境が悪化しないよう、十分検討していきたい。

答（都市建設部長） これまでも国道354号の渋滞緩和について継続的に要望を行ってきた。今後は国道4号も含め、渋滞緩和に向け、これまで以上に要望を行い、国・県と連携していく。



沼田地区の浸水被害状況(平成27年9月)

大堤南部土地区画整理事業と新駅設置について

問 事業推進の請願が採択されている。都市計画道路や上下水道の計画などを示しながらスピード感をもって地権者説明会を開催してほしい。また、新駅設置による経済波及効果を市民に示し、国・県・JR・民間へ働きかけ不退転の決意で進めていただきたいと考えるがどうか。

答（市長） 大堤南部地区の住環境を良くするため、現道拡幅をスタートした。できることを一つずつクリアしていきたい。

答（都市建設部長） 地権者説明会は、意向調査アンケートの結果報告を含め、地元の方の意見を聞く場として開催したい。



立川 徹 議員



古河市イーエス中央運動公園について

問 ①改善に関する要望、イベント広場の利用状況について伺う。②新規スポーツ種目施設の、市民調査の実態について伺う。

答（教育部長） ①修繕の要望が多くあり、計画的な修繕、改修を実施していきたい。イベント広場の利用状況は、コロナ禍を除いた年間の平均利用日数とし、イベントや大会時で約90日、消防団の訓練では約160日程度で

ある。②平成30年10月に19歳以上の市民と市内中学3年生を対象に調査をした経緯がある。特に中学3年生からボルダリング施設を望む回答があった。



アーバンスポーツ施設の導入案

学校教育の環境について

問 ①登下校時における立哨活動の実態について伺う。②働き方改革へ向けた取り組みについて伺う。

答（教育部長） ①教職員と共にさまざまな方が立哨や見守り活

動に関わり、地域の実情に合わせた取り組みを行っている。②小学校では教科担任制の導入による空き時間の確保、中学校では土日の部活動に部活動指導員の配置を進めるなど、業務改善を行っている。

助成金について

問 ①マル福^(※)の事務処理などにかかる労働時間について伺う。②600円未満では、申請しなければ助成されないのか伺う。

答（健康推進部長） ①1カ月あたり延べ140時間ほどである。②県で定める自己負担金以下のため、審査支払機関から届くデータでは把握できず窓口での申請が必要となる。

※マル福…医療福祉費支給制度



関口 和男 議員



小中学校の情報収集と通学指導について

問 児童生徒や保護者からの声をどのように集約しているか。また、横断歩道における安全指導について伺う。

答（教育部長） 学校評価アンケートを年2回実施している。本年度市内全ての小中学校で始まったコミュニティ・スクールの機能も生かしながら、よりよい学校運営の推進に向けて指導、助言を行っていく。横断歩道の

※日本版DBS…子どもと接する職業に就く人を対象に、過去の性犯罪歴の証明を求める英国のDBSを参考にした制度

安全指導は、古河警察署の協力の下、交通安全指導員による交通安全教室を実施している。

遊具の安全対策について

問 他県のレジャー施設でオートスライダーによる事故があったが、古河市としてはどのような安全対策をしているのか伺う。



答（都市建設部長） 公園遊具は

年1回の定期点検を実施している。さらに、公園施設破損通報フォームを活用し、市民からの通報についても現地確認を行い、迅速に対応している。

日本版DBS^(※)について

問 現在、国会を通過していない法案ではあるが、古河市における考え方について伺う。

答（教育長） 国では議論が進められているところで、具体的な制度化に至っていない。市においては、講師採用の際に、県西教育事務所と連携し、面接等を通して適切な人材の採用に努めている。学校や関係機関等と連携を密にし、最善の努力をしていく。



阿久津 佳子 議員



教育の質の向上について

問 カリキュラム・マネジメントの再構築や教職員の働き方改革を両輪と捉えた「学びの新常識の見える化」が必要である。①学習効果の最大化、授業力と確かな学力向上には「週3日5時間授業」、「2学期制導入」のカリキュラム改革と統一、部活動改革や時間枠を作り意識を変えることがあげられる。②教職員の働き方改革には、既存の学校パラダイム^(※)転換、事務時間

※パラダイム…特定の時代や分野において規範となる「物の見方や捉え方」

枠の確保、多忙化解消や定時出勤、教育活動の継承、継続、進化、発展が必要であり、教員が担うべき業務に専念できる環境整備と線引き（学校、家庭、地域における役割分担の明確化）が必要である。以上について伺う。

答（教育長） ①2学期制の導入に関しては、教職員の多忙化の解消と授業時間の確保の面から、検討の必要があると考えている。カリキュラムは、学校の日課や下校時刻等、各学校で創意工夫をしている。②働き方改革は、ICTを活用するなど、児童生徒と向き合う時間を確保するため、役割分担の明確化等を十分に検討していきたい。

答（教育部長） ①週3日5時間授業の実施は、放課後児童クラ

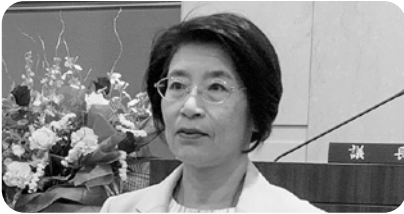
ブや共働き世帯への配慮など、さまざまな課題が考えられる。部活動は、古河市部活動運営方針を策定し、活動時間に上限を設け、可能な限り生徒自ら活動計画等を立案し運営している。②既存の学校パラダイム転換は、現在3学期制をとっているが、昨年度から通知票を年2回に変更し、子どもとの時間確保、教職員の負担軽減につなげている。

時間割表
古河市立〇〇
小中学校

	月	火	水	木	金
1	国語	数学	社会	数学	国語
2	数学	理科	国語	音楽	社会
3	社会	道徳	図工	外国語	理科
4	音楽	国語	体育	体育	数学
5	理科	外国語	数学	家庭	学活
6	委員会	総合	美術	理科	総合

《その他の質問》

・障がいのある人への合理的配慮について



古川 一美 議員



LGBTをめぐる諸問題について

問 ①性的少数者に対する差別やいじめは許されることではないが、学校でのLGBTに関する集団教育は、教育の中立性を確保し保護者の意向を踏まえて慎重に行うべき。所見を伺う。

②犯罪機会論では、男女の入口が同じジェンダーレストイレは、犯罪の温床になる可能性が指摘されている。公共施設のトイレの新設・改修の際には安全・安心を十分に確保すべき。トイレ

の在り方について所見を伺う。

答（教育長） ①児童生徒の個別の事情に応じた支援や、教師を対象に差別や偏見に対する研修を行い、サポート体制を充実させる。発達段階に応じて安心して学べる環境の整備に努め、慎重に対応していきたい。

答（教育部長） ②犯罪を未然に防ぎ、安心・安全にトイレを利用できることは大切である。新設の際は犯罪機会論に基づく考え方を参考に計画していきたい。

人にやさしい街づくりについて

問 ①移動スーパーの導入は検討したか。②古河駅のバス停にベンチを設置できないか。③身近な自治会館等へAED設置を

推進してはどうか。④十間通りの街路樹は植え替えしないのか。



答（市民部長） ②バス停周辺環境や維持管理の面から、設置はしていないが、バス事業者と連携し、調査研究したい。

答（福祉部長） ①令和3年度に検討したが、事業継続が期待できず事業化には至らなかった。

答（健康推進部長） ③効果的な活用のため、誰もが認識しやすい場所への設置が望ましいと考えている。救命率向上のため、使用方法の訓練に取り組みたい。

答（都市建設部長） ④視認性の確保等のため見合わせている。



秋庭 繁 議員



（仮称）新公会堂建設予定地の変更と大堤地区開発等について

問 （仮称）古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書や、令和5年7月に開催された第1回市民委員会での建設予定地が、10月に公表された「茨城県古河市基本計画」において突然変更されていた。この計画は誰が決めたのか。この開発予定地を不動産業者が地上げに動き、市議会議員の親族が先行取得しているが、利益誘導にあたるのではないか。住友商事株式会社がこ

の計画に入っているのは事実か。

答（企画政策部長） 本計画は、地域未来投資促進法に基づき国の同意を得て策定した。民間企業の用地売買の商談は、市は関与しておらず詳細は分からない。本事業を進めるに当たり、地権者の皆さまには、市から必ず連絡する旨を伝え、不安感の解消に努めている。



関東東北豪雨で冠水した建設予定地

放課後児童クラブの現状と課題について

問 運営形態の異なる放課後児童クラブの取り組みの違いは。

答（教育部長） どの児童クラブも子どもが放課後を安全に過ごせるよう見守りを行い、遊びや宿題の時間を設けている。

古河市花火大会実行委員会の公印と通帳の紛失について

問 古河警察から遺失物の連絡までの6カ月とその後の対応は。

答（市長） 多くの方々にご心配、ご迷惑をお掛けしたことについて、市役所を代表し深くお詫びを申し上げる。

答（産業部長） 10月4日に古河警察署から連絡を受け判明した。金銭的損失は無いが、被害届を提出し捜査中である。最終利用日の4月6日以降は、保管状態が不明確であった。改めて管理の見直しを行っている。

常任委員会県外視察報告

市議会では各常任委員会が所管の課題に対し、他の自治体で取り組まれている先進的な事例について調査・研究する行政視察を4年ぶりに行いました。

委員構成および所管事項

●総務常任委員会（9名）

委員長 小森谷 博之 副委員長 小林 登美子

委員 阿久津 佳子、秋庭 繁、高橋 秀彰、佐藤 稔、青木 和夫、赤坂 育男、増田 悟

所管事務 企画政策部、総務部、財政部、市民部（環境課および交通防犯課）、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 他

●文教厚生常任委員会（8名）

委員長 鈴木 務 副委員長 印出 慎也

委員 佐々木 英徳、関口 和男、古川 一美、稲葉 貴大、佐藤 泉、落合 康之

所管事務 市民部（環境課および交通防犯課を除く）、福祉部、健康推進部および教育委員会の所管に属する事項

●産業建設常任委員会（6名）

委員長 藪見 久美子 副委員長 立川 徹

委員 鈴木 隆、園部 増治、渡邊 澄夫、黒川 輝男

所管事務 産業部、都市建設部、上下水道部および農業委員会の所管に属する事項

総務常任委員会

○視 察 日

○視察地および
調 査 事 項

令和5年11月14日から11月16日

・静岡県富士市

脱炭素に向けた取り組みについて

・愛知県豊橋市

防災行政（ドローン飛行隊）について

当委員会では、静岡県富士市、愛知県豊橋市を訪問した。

富士市では、脱炭素選考地域への認定挑戦をはじめ、市役所が率先して「富士市ゼロカーボンチャレンジ」として、オール富士市でさまざまな施策に取り組んでいる姿勢が強く感じられた。富士市の脱炭素を含めた環境問題へのチャレンジは素晴らしく、古河市にとって大変参考となるものであった。

豊橋市では、今後起こりうるさまざまな災害に対し、救助・状況確認・復旧作業等の面でドローン飛行隊の有効性が確認できた。また、隊員を市役所内から公募により選任することで、災害時の連携強化が図られ、平常時の活用にも有効と感じ

た。古河市としても人材確保や財源確保など課題はあるが、ドローン飛行隊の取り組みは大変参考となった。



行政視察（豊橋市 ドローン飛行隊）

文教厚生常任委員会

○視 察 日 ○視察地および 調 査 事 項

令和5年10月30日から11月1日

- ・大阪府門真市
公民連携子どもの居場所「子ども^{ロビー}LOBBY」について
- ・大阪府大東市
住民主体の高齢者支援「大東市式総合事業」について

当委員会では、大阪府門真市、大阪府大東市を訪問した。

門真市では、貧困対策事業で地域住民が「子どもの未来応援団」として子ども達の見守りを行い、市内の宿題カフェ等を見守り拠点としていた。その中で子どもが毎日通える場所が必要であると感じ、常設の「子ども LOBBY」を設置した。企業等との公民連携で公費支出を抑え、さらにキャリア教育も実施し、子どもの生きる力も育んでいる。

大東市では、高齢者の運動不足に対処するため、「大東元気でまっせ体操」の拠点や生活サポーターを増やし、住民へ市の現状を隠さず伝え、巻き込んだ結果、7年間で介護給付費 30 億円の大幅な削減を達成した。

門真市と大東市の成功事例は、本市においても大変参考になるものであり、非常に価値ある視察となった。



行政視察（大東市 議場）

産業建設常任委員会

○視 察 日 ○視察地および 調 査 事 項

令和5年11月13日から11月15日

- ・愛知県豊田市
Park-PFI事業（^{くらが いけ}鞍ヶ池公園）について
- ・愛知県刈谷市
刈谷駅北地区整備事業について

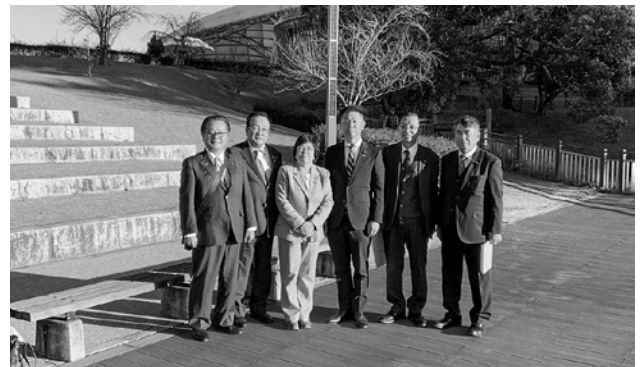
行政視察は、愛知県豊田市、愛知県刈谷市へ訪問した。

豊田市のPark-PFI事業は、民間活力導入のため、公園内の利活用においては株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングが全体の運営を円滑にするために補助、また、協力企業としてスターバックスコーヒージャパン株式会社などを敷地内へ誘致し、行政で保有する公園に付加価値を創出していた。

刈谷市の刈谷駅北地区整備事業は民間再開発の事業であった。20年近い歳月を費やし、市民や民間企業、行政が手を取り合い完成に至った事業とのことであった。

視察を通じ、協力してくれるパートナーとなる

民間企業への呼び掛けから選定、そして、まちづくりとともに、お互いが成長し発展し合える仕組みや運営が必要だと確信した。



行政視察（豊田市 鞍ヶ池公園）

～ 会派の活動を報告します ～

政 友 会

政友会は令和5年11月6日、「未来産業用地開発事業（大堤地区）」の説明を執行部から受け、意見交換を行いました。この事業は、地域未来投資促進法を活用することにより、国道4号および国道354号の沿線で交通インフラが充実した大堤地区について、新たなまちづくりの拠点として整備し、かつ「観光・スポーツ・文化・まちづくり分野」を地域経済牽引事業として位置付け、高い付加価値の事業を創出し、人口減少の抑制と地域経済の好循環を図ることを目的としたものです。今後のスケ

ジュールとしては、5年以内に民間開発事業者を決定し、地域経済牽引事業計画や土地利用調整計画等を県から承認を得る予定で、その後、開発や農地転用、用地売買、造成工事等を進めていく予定です。また、事業の課題としては、大堤地区が水害に弱い地域であることがハザードマップや近年の大雨被害からも明白であるため、事業を展開していく中で、行政と民間事業者で必ず解決していかなければならない課題であると考えております。

今後も政友会は「未来産業用地開発事業（大堤地区）」をしっかりと注視してまいります。市民の皆さまの声を第一に、そし

て会派で勉強会を重ね、研さんを積み執行部へ提言をしております。



執行部との意見交換会

古河市公明党

古河市公明党は、令和5年12月5日「物価高騰から市民を守る緊急要望書」を市長に提出しました。市民生活の家計への負担軽減に、効果的な事業の実施を求め（1）介護施設や福祉施設の給食費等、負担軽減に向けた支援を行なうこと。（2）「物価高騰支援券」や「プレミアム商品券」等による支援を実施すること。（3）物価高騰による保護者の負担を軽減できるよう、給食費等への支援を行なうこと。（4）バスやタクシーなどの公共交通、トラック等の物流分野の事業者への経営支援を行なうこ

と。（5）ひとり親家庭をはじめとする子育て世帯や、家計急変家庭の生徒、学生への給付金を支給すること。（6）上記に限らず今後の原油価格、物価高騰の状況を注視し、影響を受ける生活者や事業者の負担軽減に資する支援事業を検討し、スピード感をもって実施すること。以上6項目について要望しました。また、「令和6年度予算要望書」を市長に提出しました。予算編

成にあたっては、「行財政改革・防災減災・高齢者福祉・障がい者支援・健康増進・子育て支援・教育」などの各分野における施策について、47項目の要望をいたしました。古河市公明党は、市民の皆さまから頂いたさまざまなご意見、ご要望について議会質問や調査研究を行い、市政に反映されるよう全力で取り組んでまいります。



～ 会派の活動を報告します ～

市民ベースの会

市民ベースの会では、古河市の教育改革を推進するために茨城県守谷市教育委員会を訪問しました。

視察研修において、「もりや型教育改革・守谷型カリキュラム・マネジメントとは」についての概要説明をスライドと資料を参考にしながら講義を受けました。

守谷市では「学習効果の最大化」と「教職員の働き方改革の両立を図ったプラン」を作成し、週3日以上5時間授業を中学3年生まで実現しています。

長時間労働による教師の疲弊を軽減するために、「時間枠を作

り、意識を変える」ことが大切であると再認識しました。

また、新教育課程実施検討委員会では、授業時間増への具体的な対応としてさまざまな検討がなされ、その結果、年間13日間の授業日の増加を実現しています。

まず、エアコンが整備された快適な環境で学習できることから夏休みの短縮。

次に、二学期制の導入による始業式・終業式に充てていた日を授業日にすること。

特筆すべきは、茨城県民の日、各学校の創立記念日も返上して授業を行っていることです。

84%の児童生徒から「放課後が充実した」また、66%の教職

員からは「働き方改革に有効」との調査結果が出ています。

古河市の教育においても、児童生徒のためになり、教職員の3分の2の賛同がある守谷型の導入をすぐにでも取り入れるべきだと会派一同考えています。

市民ベースの会は教育を通じて古河市発展のために努力します。どうぞよろしくお願いいたします。



守谷市 議場にて

真 政 会

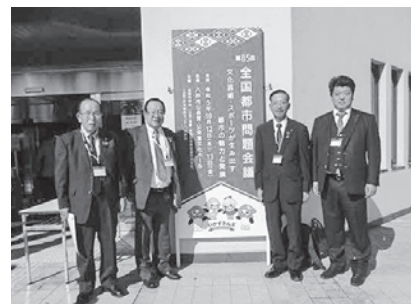
真政会では、10月12日～13日、青森県八戸市公会堂・文化ホールにて開催された、第85回全国都市問題会議に会派の4名で参加しました。八戸市は、北東北東岸に位置し、面積305平方キロメートル、人口22万人の中核市です。工業都市、国際物流拠点都市としても発展しており、「多文化都市・八戸」を推進するため、「はっちのまちプロジェクト」に取り組んでいます。

今回の会議のテーマは、「芸術文化・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」でした。冒頭、本会議を主催する4団体を代表

して、福島県相馬市長の立谷秀清氏からあいさつがありました。子ども未来戦略会議、ワクチンの有料化、行政システムの平準化や災害対応等で市の負担が増えないよう、全国市長会のネットワークを通して取り組んでいきたいと述べられました。

基調講演は、東京芸術大学学長の日比野克彦氏、テーマは、「アートの役割って何だろう」で、アートは、ただ単に美術・音楽・演劇といった表現ばかりでなく「生きる力」であり、人が集いコミュニティができる多様性ある社会を築く基盤であり、社会的課題に対して、持続的に取り組み続けていくために大切なものであると述べられました。

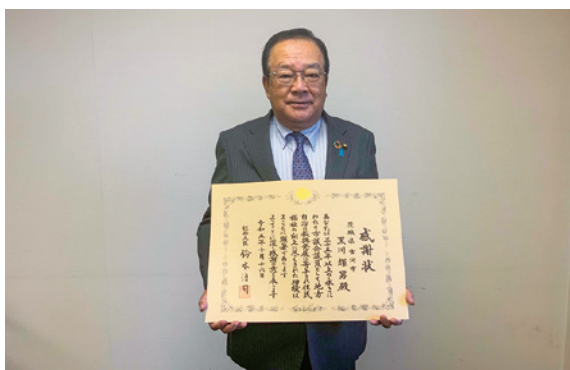
一般報告は、文化事業ディレクター吉川由美氏、2010年春から八戸市のまちづくりに関わってきました。当時、空きビルだらけの街の再生に取り組んだが、街の再生には、市民が自分事として関わるのが大事で、文化政策は、市民が主体的に豊かに生き生きと生きられる地域社会を創る政策に他ならないと述べられたのが印象的でした。



青森県八戸市公会堂・文化ホール前にて

感謝状受賞

地方議会の議員として地方自治の発展に
功労があったと認められ、総務大臣より
黒川輝男議員に感謝状が贈呈されました。



総務大臣感謝状
《議員 35 年以上在職》

令和6年能登半島地震
災害義援金

令和6年1月1日に能登半島で発生した大
地震により被災された方々を支援するため、
令和6年1月23日に開催された議員会での
決定により、義援金23万円を石川県に寄託
しました。

心からのお悔やみとお見舞いを申し上げ、
1日も早い被災地の復興をお祈りいたします。

◆◆◆ 令和6年 第1回定例会の開催日程 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
2月28日(水)	本会議	開会、議案の説明
2月29日(木)	休会	議案調査
3月1日(金)	本会議	質疑、議案の委員会付託
3月4日(月)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
3月5日(火)	常任委員会	文教厚生常任委員会
3月6日(水)	特別委員会	予算特別委員会
3月7日(木)	特別委員会	予算特別委員会
3月8日(金)	特別委員会	予算特別委員会
3月11日(月)	休会	議案調査
3月12日(火)	本会議	議場コンサート、各会派代表質問
3月13日(水)	本会議	一般質問
3月14日(木)	本会議	一般質問
3月15日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○開催予定時間は午前10時です。

○産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。

※変更される場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

第4回定例会の傍聴者数

本会議	51人
委員会	5人
議場コンサート	21人
合 計	77人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子・会議録
を見てみよう！

古河市議会ホームページ、
または下記2次元コード
からご覧になれます。



議会中継



会議録

🌸🌸🌸 編 集 後 記 🌸🌸🌸

第79号議会だよりでは、令和5年12月定例会での議決
一覧、請願、陳情、13名の議員による一般質問や各会派の
活動報告、各常任委員会の行政視察を掲載しています。行
政視察は先進自治体から学ぶべき点が多く、少しでも本市
へ取り入れられればと考えております。本年は、昨年より
もさらに市民の皆さまに身近で、親しみのある議会だより
となるよう工夫と改善を重ねてまいります。ご意見等があ
れば、ぜひお寄せください。 委員長 印出 慎也

【議会だより編集委員会】

委員長	印出 慎也
副委員長	関口 和男
委員	立川 徹 小林登美子
	稲葉 貴大 鶴見久美子

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111 (代)